

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	よつばハーモニー 鈴蘭台			
○保護者評価実施期間	令和7年11月10日		～	令和7年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人（12家庭）アンケート総数12	(回答者数)	15人（12家庭）アンケート総数12
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～	令和7年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	11人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者1人1人への理解の深め方や保護者との共通理解、共感性。	些細な事でもすぐに相談にのれるよう開かれた事業所運営を意識的に行っている。	より具体的に「今後どうしていきたいのか」「ここに悩んでいる」というものを明確にできるように、共有できる場の増加をおこなってきたい。
2	活動内容の多様性。	同じ内容の活動内容が続かないよう職員がチームを組み活動内容の充実を図っている。	外部の情報（SNSや研修など）を積極的に取り入れ鈴蘭台で活用できるものを検討し実施していきたい。
3	保護者会などの保護者との連携。	定期的な面談や保護者会（よつばの会）の開催など保護者が参加しやすい場を設けている。	保護者会後のアンケートなどを参考にし理想的な開催期間、開催回数を探ってきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童館や地域の他のこどもとの交流がない事。	交流を持てる関係性が現在出来ていない事と、学校以外で健常児との交流がどのような効果があるのか見いだせていない事による積極性のなさが要因。ただし他放課後等デイサービスとの交流は積極的におこなっている。	地域交流を行っている事業所がある場合は参考にさせていただき具体的な取り組みに繋げていきたいが、保護者様の意見も参考にしていきたい。
2	面談や保護者会はあるが、きょうだい児支援の案内が不十分な事。	きょうだい児支援とは何か？を事業所職員でより理解を深めていかなくてはならないが、それに関する研修への参加ができていない。きょうだい児支援の内容の研鑽を日々行えていない事が積極的な案内に繋がっていないと感じる。	きょうだい児支援が必要なご家庭はもちろん、きょうだい児支援というものが存在しているという事を認識していただけるよう事業所からのアピールを行うと同時に、それらに関わる研修への積極的な参加を行ってきたい。
3	研修や訓練を行っている事がすべての保護者様に周知ができていない事。	研修を行っている事を契約時にしか伝えていないので、周知に繋がっていないと感じる。連絡ノートやSNSなどで報告を行っていない事も要因だと考える。	どのような研修、訓練をおこなったかなどを積極的にSNSや連絡ノート、口頭などで周知をしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	よつばハーモニー鈴蘭台
------	-------------

公表日 令和7年12月15日

利用児童数 15人 12家庭 回収数 15人 12家庭

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	0	0	・もう少し広ければいいなと思うが、現実的に厳しい。 ・机上と粗大のバランスが考えられている。 ・外に行ってくれたりもする。	・現状のスペースで活動毎に空間を最大限に活用したり、或いは空間を仕切る事で集中しやすい環境にしたりと日々配慮して狭さを感じないような工夫を行って参りたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	1	・見守りと援助が適切に出来ていると感じている。 ・たくさんの先生がいて覚えられないくらい。	・今後も継続して適切な配置を行って参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1	1	0	・引き出しに玩具の写真が貼られているが、外に出しっぱなしになっている物は少なく発達特性が考えられている。 ・視覚に訴えかけるツールもある。 ・階段があってバリアフリーではない。	・分かりやすさを意識し環境を整えて参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	1	0	・コンビニの上だし、車通りの多いところなので。 ・白を基調としていて清潔感がある。	・送迎車両から出入口までの数メートルは一番危険な箇所と認識しております。職員同士の連携で乗り降りの際児童様が単独にならない取り組みをさせていただいておりますが今後も十二分に注意しながら取り組んで参ります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	1	・必要に応じて見守る時間を作ってくれている。 ・とても理解してくれていると感じる。	・今後も継続して参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0	・少人数の放デイの強みを活かした支援をしてくれている。	・今後も継続して参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0	・十分な聞き取りに基づいて子供に合った計画を考えてくれている。 ・とても長い時間をかけて理解しようとしてくれました。	・今後も継続して参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0	・他のデイさんと比べるものではないかもしれませんが、とても細かく具体的に保護者自身もとても納得ができる内容です。 ・十分な聞き取りに基づいて子供に合った計画を考えてくれている。	・今後も継続して参ります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1	・目標に基づいて必要に応じて見守りと援助をしてくれている。 ・遊びの中に取り入れてくれている。	・今後も継続して参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	0	・様々なプログラムを計画してくれている（おでかけ、誕生日等） ・毎日利用していても毎回内容が違えば子供が飽きないように工夫されている。 ・こどもに今日何をしたかお話を聞くと前回と違う活動の話をしてくれる。	・今後も継続して参ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1	5	・利用を始めてから交流に参加した事がない。 ・他のデイさんと活動をする事がある。 ・合同イベントは多い。 ・健常児さんとは交流がなくともいいと思います。（学校で十分）	・様々なご意見をいただきました。地域のこどもたちとの交流は現状行えておりません。遠足などの際に一緒に遊具等で遊ぶなどではありますが、行事イベントとしては現段階では予定をしておりません。今後保護者様や児童様のご意見を考慮しながら検討して参りたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0	・規約に沿って丁寧に説明してくれた。 ・分かりにくいところを私が理解できるまで分かりやすく説明してくれた。	・今後も継続して参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	1	・長期的に目指す所を丁寧に説明してくれた。 ・家庭訪問をしてくれ教えてくれる。	・今後も継続して参ります。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	0	1	1	・ 1 1月の保護者会はとても参考になった。 ・ ペアレントトレーニングは続けて参加したい。 ・ 平日は難しいです…。 ・ 希望を伝えると面談をすぐに組んでくれるので本当に相談しやすいです。	・ 今後も定期的に開催して参ります。平日のみではなく、土祝日も開催ができるよう調整をして参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	0	0	0	・ いつもノートに細かく書いてくれる。	・ 今後も共有をし共通理解を深めていきたいと思っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	0	0	・ 利用を始めて期間が短いため、まだ機会がない。 ・ 面談をよくしてくれそうです。 ・ 電話での相談になる事が多いが丁寧に対応してくれます。 ・ 学校にも来てくれた事が本当に助かりました。	・ 今後も継続して参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0	・ ノートに家での様子を書く、共感的な一言を返してくれている。 ・ 共感もあるし専門的なアドバイスももらえた。	・ 今後も継続して参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	2	1	・ 保護者会には参加した事があるが、きょうだい向けの物には参加したことがない。 ・ 保護者会に都合が合わず参加できなかったがまた参加したい。	・ きょうだい児支援の場と機会の増加を今後の案内で強化して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	0	・ 何かあればいつでも連絡下さいと言ってくれており、聞きたい事にはすぐにお返事くれる。	・ 今後も継続して参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0	・ 毎回丁寧にノートを書いてくれる。 ・ 家に送ってもらう時にどんな事があったかを教えてくれる。	・ 今後も継続して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	0	・ 毎回チラシで予定を教えてくれて、SNSで発信してくれている。	・ 今後も継続して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0	・ SNSではアングルに配慮してくれている。	・ 今後も継続して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	1	・ 契約時に説明してくれた。 ・ どうだったか...忘れてしまいました。	・ 定期的な面談の中で再度周知をさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	2	・ 避難訓練をしていると発信してくれている。	・ その日に利用していなかった児童様もおられますので、全ご利用者様が訓練に参加できるよう配慮して参ります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0	・ 規約に非常時の対応についての記載がされている。	・ 今後も継続して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2	0	1	・ 怪我なく安全にすごさせてもらっているのだからと。 ・ 自傷行為があった時にすぐに連絡をくれ流れと対応を説明してくれ安心した。	・ 今後も継続して参ります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	・ いつも落ち着いて通所してます。お出かけの楽しかった話もたくさんしてくれます。 ・ お家でする話はほとんどよつばさんの話です。製作活動や遠足、いろいろな経験をさせていただいて本当に感謝しかありません。	非常にありがたいお言葉をたくさんいただきました。ご利用者様ご家族様すべてに今後より良い支援サポートができるよう、環境を整えながら取り組んで参ります。 ～保護者様へ～ お忙しい中評価表に丁寧にお答えいただきまして誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。 よつばハーモニー鈴蘭台 職員一同
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0	・ 大切な居場所になっています。いつもとても楽しみにしています。我が家にとって本当に助かってますし心強い相談できる場所です。よつばでの本人の笑顔の写真を見るととても安心します。 ・ 学校よりよつばに行きたいと言われ複雑な気持ちになるときもあるくらいです(笑) ・ すごく楽しんでいると思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					令和7年 12月 15日
よつばハーモニー 鈴蘭台							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	最大10人がいてもゆとりがある。空間を活動内容によって区切ったり臨機応変に対応している。	課題取り組み中の児童が、課題を終えた児童の余暇中の声に反応してしまい集中が続きにくい時間帯が生まれてしまう事があるので、空間のより良い活用方法（区切り方など）を今後検討し取り組みます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11	0	担当を設けるなど配置されている。	基準人員プラスの人員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	下駄箱に確実に靴を仕舞えるようシールを貼って誘導できている。 階段が長い。 トイレの順番をどう並ぶか提示している。 トイレには段差があり完全バリアフリーではない。	2階に事業所があり長い階段を登らなくてはなりませんが、ご利用者様が登る際には必ず職員が一緒について昇り降りしております。今後改善が必要な箇所が露呈した場合早急に改善対応をして参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	定期的に清掃しており綺麗。 棚の角やドアノブなど怪我をしにくいよう配慮されている。	清潔さは今後も継続して保てるよう取り組みます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	落ち着けない時や泣き叫んでいる時に別室でクールダウンできるようにしている。	現在の別室のまま使用しても良いが、今後スヌーズレンルームとして設備を整える事も検討しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	2	PDCAとかではないかもしれませんが、業務上気になった事とか気づいた事や要望などを伝えるとすぐに対応してもらえる。	全ての職員が参画できるよう今後も気兼ねなく意見を言い合える話しやすい環境を提供できるよう取り組んで参ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	評価表を読んで意見を出している。 評価表から地域の子供たちとの交流があまり無い事に改めて気が付いた。	良い事ばかりに目が行きがちですが、評価の低かった項目を職員間で検討し、改善できる項目は具体的に詰めていきたいと思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	定期的な職員会議を開催している。 児童の来る前など様々な時間帯に話ができています。	雇用形態常勤非常勤問わず些細な事でもすぐに意見交換ができるように今後も取り組みます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	7	現在第3者による外部評価を受けておりません。	必要場合は積極的に第三者による外部評価を受けます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	定期的に外部の研修に参加している。 研修報告書の作成と提出を各自お願いしており研修内容の共有に努めております。	研修に関して法人からの案内と個人で気になった研修なども職員間で共有し、参加しています。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	HP上に公表されている。	公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	初回利用時、モニタリング時など必要なタイミングでアセスメントを行っている。アセス内容の共有も行っている。	アセス情報を共有し職員間で共通理解を極力深めた上で、客観的な意見もいただくように取り組んでいます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	職員で意見を出し合っている。 検討会がある。	同上	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	確認をしやすいようファイリングされている。	支援計画を中心にその時々のご利用者様の心身の状態に沿った支援サポートを行うよう意識しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	アセスメントシートは5領域観点から確認するフォーマルなシートと、より細かい個々に応じたシートの2種類使用している。	今後継続して2視点からアセスを取っていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	具体的な取り組みができるように設定されている。	個別支援計画書に地域支援・地域連携は移行支援の学校連携に組み込まれている認識で項目としての記載はないが、必要な利用者様がいる場合は積極的に導入します。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	個人や1人にバランスが集中しないように全体で立案検討をしている。	今後も継続して参ります。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	その日のメンバー、その瞬間の心身の状態などに応じて活動内容を臨機応変に変えて取り組んでいる。	今後も継続して参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	毎日個別の活動と集団の活動を時間を明確に分けて行っている。	今後も継続して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	4	支援前に出勤できている職員はできるが、支援中に出勤する非常勤職員は支援前の打合せは難しい状態。 支援中には口頭で伝えたり、ホワイトボードに役割を明記したりと工夫している。	支援中に出勤した職員が打合せをするのはなかなか難しい現状があるが、短時間の情報共有、ホワイトボードを使用した情報の共有は徹底しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	非常勤職員は伝えきれなかった事は連絡ノートに記載をし、常勤職員は共有している。	業務終了後に気が付いた事や、終了後に保護者からの連絡があった内容なども緊急の場合などは共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	日報、連絡帳、面談記録など記録している。	今後も継続して参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	モニタリング表も児発管や管理者のみが見るのではなく全員で共有している。	今後も継続して参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	11	0	個々に応じた支援内容も基本活動に則った内容で行っている。	今後も継続して参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	自分で考え決める時間を活動の中の随所に取り入れている。	自分で決める事ができない子も自分で決めたと認識できるような誘導を心がけています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	6	管理者又は児発管が参加している。	現在相談支援の会議があるのが1組しかいませんでしたが、その会議に参加した事を全職員が把握できていなかった事が今回認識できたので、今後相談支援さんとの関係性やその場で出た内容などをよりしっかり共有したいと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	当法人以外の放デイとの連携を積極的に行っている。	今後も継続して参ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	毎月利用日などの情報共有の手紙を出し連携を取っている。 授業参観や個別懇談会への同席など行っている。	今後も継続して参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	0	保護者の同意のもとこども園から支援計画を共有してもらったり、児発からも情報を共有してもらっている。	今後も継続して参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	11	該当者なし。	現在該当はないですが、今後該当者がいる場合は確実に情報共有をさせていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	8	部会を通じて連携を取らせていただいているが、まだ実際に研修までは受けられていない。	今後研修や助言を受ける機会を設けていくよう連携を取らせていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	11	現在機会がない。	他事業所との合同イベントなどは積極的に行いよつばハーモニー鈴蘭台のみの人間関係にならないよう意識はしています。ただし、児童館などの健常児との交流は現在できておりませんので、どのような形で交流ができるのか、その際利用児童様にどのような反応がでるかなど十分に検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	0	管理者が積極的に参加しコアメンバーとしても参画している。	そこで得た情報を事業所内に共有している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	連絡ノート、送迎時、面談、保護者会時など機会を多く設け、共通理解を深められるよう意識している。	共通理解をしても方針にズレはつきものなので保護者の意見だけではなく、「本人がどうしたいのか」「本人がどうありたいのか」を疎かにせず、保護者側にも納得のいただける課題を探っていくように努めています。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	平日の午前中になることが多いが取り組んでいる。	ペアレントトレーニングの内容をよりよいものにするために研修にどんどん参加していきたいです。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約時にしっかりと時間を設けている。	今後も継続して参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	アセスメントの際や支援計画を説明する際にも再度確認している。	今後も継続して参ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	行っている。	今後も継続して参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	面談以外にも電話で相談に応じたり、臨機応変に対応している。	今後も継続して参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	11	0	今年度開催し好評をいただいた。	今後も継続して計画して参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	現在苦情を受けていないが、苦情が発生した際はしっかりと対応させていただく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0	SNSの活用により写真付きで発信している。	今後も継続して参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	鍵付きロッカーの使用や、情報の公開範囲、個人情報取り扱いの指針を制定している。	今後も継続して参ります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	聴覚のみではなく視覚を通じた伝達も行えるよう配慮を行っている。	今後も継続して参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	9	消防訓練に参加してくれたり、児童のいない時間帯に施設内見学を実施したりと取り組んでいた。	行事として正式に招待をしている訳ではなくたまたま参加してくれるなどが多いので、今後はより開かれた事業所になれるよう情報を発信していきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	定期的に行っている。	保護者へのマニュアルの細かな説明共有はなかなかできていない事が分かった。このような内容のマニュアルがあるなどは伝えているが、詳細部分は今後の面談などで伝えていければと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	見直し、研修、訓練をおこなっている。	今後も継続して参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11	0	サポートブックこうべにより把握している。	今後も継続して参ります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	10	現在医師の指示書が出ている児童がいない。	アレルギー等の情報は予め把握し対応しているので今後も継続して注意して参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画が策定されている。	今後も継続して参ります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	契約時に伝えている。	今後も継続して参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	作成と検討、再発防止に努める話あいを定期的に行っている。	今後も継続して参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	定期的に行っている。	今後も継続して参ります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			現在身体拘束に該当する児童はいないが身体拘束防止に関する指針も定めている。今後該当する児童がいる場合は適切な対応を行う。	今後も継続して参ります。